

2017年国際アルツハイマー病協会(ADI)国際会議

会議公式サイト www.adi2017.org

公益社団法人 認知症の人と家族の会
代表理事 高見 国生

I. 2017年ADI国際会議の概要

1. 会議の名称 日本名：第32回国際アルツハイマー病協会国際会議
英語名：32nd International Conference of Alzheimer's Disease International
2. 開催期日 2017年4月26日(水)～29日(土)
3. 開催場所 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)
4. テーマ 認知症：ともに新しい時代へ
5. 主催 国際アルツハイマー病協会 (Alzheimer's Disease International 略称：ADI)
公益社団法人認知症の人と家族の会
(Alzheimer's Association Japan 略称：AAJ)
6. 後援予定 厚生労働省 京都府 京都市
7. 会議の規模 参加予定者数 4,000人(国内 3,200人 海外 800人) 参加国数 約80カ国

II. 国際アルツハイマー病協会 (Alzheimer's Disease International)の概要

ADIは世界各国にある認知症関連団体の連合組織である。各国における認知症関連団体の設立と活動の推進を支援し、認知症に関する世界的な関心を高めることを目的とする。主な活動は下記の通りである。

- ・年次国際会議
- ・加盟組織支援
- ・アルツハイマーデー・月間イベント
- ・本人支援
- ・調査研究
- ・情報と知識の提供 (出版等)
- ・姉妹団体提携支援
- ・アルツハイマー大学
- ・認知症の人と家族の権利擁護

III. ADI国際会議について

ADI国際会議は、ADI活動の中でも最も重要な活動の一つである。1985年に第1回国際会議を開催、その後毎年1回世界各国の加盟団体がローテーションでADIと共催する。「認知症の人と家族の会」は2004年に京都でこの国際会議を開催したが、ここで本人が自ら発表を行ったことが、その後の認知症ケアを大きく進展させる契機となった。2017年は日本での2回目の開催となる。

(1) ADI国際会議の目的

- ・ 認知症についての認識を、世界的規模で高める
- ・ ADI及び各国アルツハイマー協会の活動を世界中に知らせる
(特に会議開催国と周辺地域における認識を向上させる)
- ・ 各国・地域から高官の代表参加を招聘する
- ・ 認知症に関心のある個人と組織がネットワークを広げ経験を共有し、互いに学び合う
- ・ 認知症研究、治療、ケアについての最新のすぐれた実践を学びあう機会とする
- ・ 認知症関連団体の業績と、認知症の人と介護者への支援についての情報を共有する

- ADI 加盟団体及び将来の加盟団体が、ワークショップや仲間とのネットワーキングを通じて、団体の能力を向上させる
- 本人と家族が社会に向かって発言できる機会とする

(2) ADI 国際会議の参加者

ADI 国際会議は様々な分野からの参加者を募る

認知症の人・家族・介護者・介護専門職・研究者・医師、看護師・認知症関連ボランティア・その他の専門職・認知症に関心のあるすべての人々

(3) ADI 国際会議テーマ 認知症：ともに新しい時代へ

2010～2015 年会議のテーマ

2015 年 オーストラリア パース

(世界的な課題- 認知症のケア、治療、そして本人としての経験)

2014 年 プエルトリコ サンファン

(認知症： 世界的な解決のために、ともに取り組む)

2013 年 台湾 台北

(認知症： 世界的な変化のための行動)

2012 年 イギリス ロンドン

(事実に基づいた科学フィクション)

2011 年 カナダ トロント

(姿を変えつつある認知症)

2010 年 ギリシア テッサロニキ

(認知症： 状況を変える)

(4) 国際会議分科会 募集演題概要

<科学>
 *アルツハイマー病以外の認知症
 *発症リスクの軽減とリスク因子
 *新しい研究手法
 *診断と画像診断
 *早期介入
 *最新の治療と今後の展開
 *疫学
 *遺伝学
 *連携とビッグデータ

<ケアの研究と実践>
 *社会サービスの現在と未来
 *介護者支援と研修
 *介護職の教育と研修
 *ケアモデル
 *終末期ケア
 *非薬物的介入
 *パーソンセンタードケア
 *科学技術と認知症
 *リハビリテーションとその可能性
 *ケアの調整と連携

<くらし>
 *社会的理解と偏見
 *認知症にやさしい地域
 *健康的な加齢
 *環境とデザイン
 *本人と介護者の参加
 *セクシュアリティと認知症
 *信仰とスピリチュアリティ
 *認知症サポーターと Dementia Friends
 *地域社会への参加と連携

<政策>
 *認知症政策
 *政策的イニシアチブ
 *認知症施策の構想
 *認知症の人の人権
 *介護・保健医療経済
 *法と倫理
 *提携と協力関係の構築

(5) 参加登録 演題受付等

- 2016年 7月11日 参加登録受付開始
7月25日 演題受付開始(要約提出:タイトルは英語のみ、本文日本語可)
10月31日 演題受付締め切り(査読結果通知は2017年1月の予定)

(6) 国際会議イベント

当会は2017年4月の国際アルツハイマー病協会(Alzheimer's Disease International/略称ADI)第32回国際会議(京都で開催)に先立ち、2016年9月(京都)、10月(東京)に国際会議イベントを開催いたします。

<イベントの概要>

- 目的 2017年4月のADI国際会議開催に先立ち、認知症に関する当事者団体が抱えている現状の課題や問題意識を共有して社会に広く発信、国際会議での世界への発信につなげるとともに当事者の視点にたった社会啓発を行う。イベントを契機に、当事者に切れ目ない支援が行えるよう連携体制を構築する。
- 参加対象 認知症当事者団体、認知症に関わる医療、看護、福祉等の専門職、ボランティア及び認知症に関心のある市民
- 主催 2017年国際会議イベント実行委員会(参画団体は下記のとおり)
全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会、男性介護者と支援者の全国ネットワーク、日本認知症ワーキンググループ、レビー小体型認知症サポートネットワーク(東京)、認知症の人と家族の会
- 運営 上記実行委員会、2017年国際会議関係団体委員会(委員長:本間昭 認知症介護研究・研修東京センター)、ADI2017国際会議事務局、認知症の人と家族の会東京都支部・京都府支部
- 日程 2016年9月19日(祝) 京都市 京都テルサ(800人) 京都府共催
2016年10月8日(土) 東京都新宿区四谷区民ホール(452人)
- テーマ 「認知症:ともに新しい時代へ」 -日本の当事者団体・あつまる-
- 内容 認知症当事者団体の活動内容発表とディスカッション、講演、認知症本人や介護者による発表等

(7) 2017年ADI国際会議の運営

ADI執行委員会

氏名	国名
Glenn Rees	オーストラリア
Dale Goldhawk	カナダ
Andrew Ketteringham	英国
Serge Gauthier	カナダ
Marc Wortmann	英国

日本組織委員会

氏名	所属
高見 国生(国際会議議長)	認知症の人と家族の会
中村 重信(委員長)	認知症の人と家族の会
鳥羽 研二	国立長寿医療研究センター
本間 昭	認知症介護研究・研修東京センター
杉野 文篤	認知症の人と家族の会
金子裕美子	認知症の人と家族の会

オブザーバー
水谷 忠由(厚生労働省)
余田 正典(京都府)
居内 学(京都市)

科学プログラム委員会

氏名	国名
鳥羽 研二 (委員長)	日本
堀部賢太郎	日本
中村 重信	日本
Serge Gauthier	カナダ
Henry Brodaty	オーストラリア
Steven Dekosky	アメリカ
Miia Kivipelto	スウェーデン
Anja Leist	ルクセンブルグ
Martin Orrell	イギリス
Philip Poi	マレーシア
Aquiles Salas	ベネズエラ
Kate Swaffer	オーストラリア
Jenny Van der Steen	オランダ
Di Xiangdong Wang	中国
Marc Wortmann	イギリス

オブザーバー

太田 秀隆 (厚生労働省)

プログラム作業部会

氏名	所属
足立 啓	和歌山大学
奥村 典子	藤本クリニック
遠藤 英俊	国立長寿医療研究センター
進藤 由美	国立長寿医療研究センター
武地 一	藤田保健衛生大学
堀部賢太郎	国立長寿医療研究センター
松本 一生	松本診療所
森 俊夫	京都府立洛南病院

日本関係団体委員会 (国内認知症関係当事者団体にて構成し、日本の当事者団体の取り組みを世界に発信する役割を担う)

氏名	所属
本間 昭 (委員長)	認知症介護研究・研修東京センター
杉野 文篤	本人
金子 裕美子	介護者

(8) 予算概要

(単位：円)

収入の部			支出の部	
ADI 収入	登録料収入	120,000,000	会議開催費 (会場・通訳等) (演者関係・準備) (広報) (参加者配付物)	219,000,000 (144,000,000) (48,000,000) (18,000,000) (9,000,000)
	協賛	99,000,000		
「家族の会」 収入	寄付金等	23,030,000	「家族の会」準備費 (国内広報、国内委員 会・事務局運営、プレイ ベント等開催経費)	23,030,000
収入計		242,030,000	支出計	242,030,000

※概算経費はドル建て経費を2015年10月時点で1ドルを120円として換算しています

(9) 2017ADI 国際会議参加登録料金表

	区分	申込時期		
		早期(7/11~2/6)	前期 (2/7~4/7)	当日
全日 (4月26日~29日)	一般	77,000 円	8,4000 円	95,000 円
	本人	24,000 円	24,500 円	34,000 円
	介護者 1 名 + 本人 1 名 ※	45,000 円	50,000 円	55,000 円
	介護者	39,000 円	45,000 円	50,000 円
	中低所得国からの参加者	39,000 円	45,000 円	50,000 円
	学生	24,000 円	39,000 円	50,000 円
	家族の会員	32,000 円	39,000 円	50,000 円
	同行者 ・ 26 日歓迎会のみ参加可 ・ 発表会場への入場不可	5,500 円	7,500 円	10,000 円
	出展者用パス	17,000 円	17,000 円	17,000 円
1 日	一般	44,000 円	50,000 円	60,000 円
	一般以外の方	11,000 円	16,000 円	21,000 円
	会議ディナー	8,000 円	8,000 円	8,000 円

※介護者 1 名 + 本人 1 名の区分は全日参加登録のみです。

(10) 後援予定 (順不同、敬称略)

厚生労働省、京都府、京都地域包括ケア推進機構、京都市、全国町村長会、全国知事会、全国市長会、社会福祉法人中央共同募金会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、一般財団法人長寿社会開発センター、国際長寿センター、日本赤十字社本社、認知症介護研究・研修東京センター、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、認知症介護研究・研修大府センター、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、WHO 健康開発総合研究センター、社会福祉法人東北福祉会認知症介護研究・研修仙台センター、社会福祉法人京都市社会福祉協議会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、社会福祉法人京都府社会福祉協議会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会、公益社団法人日本精神神経学会、一般社団法人日本老年医学会、一般社団法人日本在宅医学会、日本公衆衛生学会、一般社団法人日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、一般社団法人日本精神保健看護学会、公益社団法人日本老年精神医学会、一般社団法人日本認知症ケア学会、日本老年社会科学会、日本老年看護学会、日本在宅ケア学会、一般社団法人日本認知症学会、公益財団法人三菱財団、公益財団法人みずほ教育福祉財団、公益財団法人認知症予防財団、公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団、日本弁護士連合会、一般社団法人日本介護支援専門員協会、公益社団法人全日本病院協会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、一般社団法人日本病院会、公益社団法人全国自治体病院協議会、公益社団法人全国有料老人ホーム協会、公益社団法人日本介護福祉士会、一般社団法人シルバーサービス振興会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会、一般社団法人日本福祉用具供給協会、公益社団法人日本精神科病院協会、一般社団法人日本作業療法士協会、全日本民主医療機関連合会、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、公益財団法人日本訪問看護財団、一般社団法人全国公私病院連盟、全国保険医団体連合会、公益社団法人日本精神神経科診療所協会、日本司法書士会連合会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人日本医療社会福祉協会、日本慢性期医療協会、日本医療福祉生活協同組合連合会、特定非営利活動法人全国高齢者ケア協会、一般社団法人全国デイ・ケア協会、宅老所・グループホーム全国ネットワーク、公益財団法人全国老人クラブ連合会、NPO 法人高齢社会をよくする女性の会、特定非営利活動法人全国抑制廃止研究会、日本ホスピス在宅ケア研究会、一般社団法人京都市老人福祉施設協議会、一般社団法人京都私立病院協会、京都府慢性期医療協会、一般社団法人京都府老人福祉施設協議会、一般社団法人京都府介護老人保健施設協会、京都府保険医協会、一般社団法人京都府歯科医師会、一般社団法人京都府医師会、一般社団法人京都府薬剤師会、公益社団法人京都府看護協会、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、朝日新聞社、時事通信社、共同通信社、NHK、中日新聞社、KBS 京都、京都新聞

参考) 国際会議の開催地と参加者数 (2004 年第 20 回以降)

年	開催国	参加者数	年	開催国	参加者数
2004	日本	4098	2011	カナダ	1079
2005	トルコ	900	2012	イギリス	1672
2006	ドイツ	1550	2013	台湾	1088
2007	ベネズエラ	712	2014	プエルトリコ	616
2009	シンガポール	1125	2015	オーストラリア	1100
2010	ギリシア	865	2016	ハンガリー	850

ADI2017 国際会議事務局

〒602-8143 京都市上京区堀川丸太町下ル京都社会福祉会館
公益社団法人認知症の人と家族の会内

TEL:075-811-8399 FAX:075-811-8188

E メール : aaj2017@alzheimer.or.jp ホームページ : www.alzheimer.or.jp

Alzheimer's Disease International (ADI)

45/46 Lower Marsh, London SE1 7RG U.K.

email: info@alz.co.uk web site:www.alz.co.uk

TEL: +44 (0)20 7620 3011 FAX: +44 (0)20 7401 7351